

事業名：世界一健康なまちづくり 1000 + 1 Movement 事業

1 事業実施者 (事業提案者)	住所 北海道札幌市中央区大通西1丁目14番地2桂和大通ビル509F 法人名 株式会社 Ambi 代表者 代表取締役社長 金原 稔幸	
2 実施期間	令和6年7月から令和8年3月まで	
3 事業の概算事業費	(1) 概算事業費	3,000,000 千円
	(2) 概算事業費のうち必要最低補助額 規模の縮小、自己財源等により事業の実施が可能となる最低限必要である補助金の目安額。 ここに記載の額まで、企業版ふるさと納税が集まった場合は、この採択事業に関し、補助金交付に向けた予算措置等の手続きに進む想定となるもの。	73,000 千円

4 事業の内容	<p>本事業は、北広島市民、北広島市に通勤・通学する方々、北広島市と関係のある方（以下、「市民等」）に対し、定期的な運動・スポーツのほか、質の高い睡眠活動の実施に係るきっかけ作りや、気付きを促す取組を実施することにより、市民等の生活習慣を整え、ひいては、市民等の健康寿命の延伸や活力みなぎるまちづくりを推進するもの。</p> <p>【詳細】</p> <p>市民等が日常的に取り組めるスポーツ・運動活動や睡眠活動の啓発・イベントの実施（例：さんぼまちでの習慣的なさんぼ活動の促進）</p> <p>グローバル活躍人材やプロスポーツアスリートを含むゲストを招いた、睡眠や運動を啓発するセミナー、子ども・子育て世代への教育機会やイベントの提供（例：多世代住民が睡眠と運動を体験できるイベント企画の開催）</p> <p>市民等へのアンケートの実施による効果測定や今後の施策に向けた分析の実施</p> <p>心拍数、消費カロリー、運動、睡眠活動などの情報を細かく記録・分析し、スマートフォンのアプリで情報を確認できる指輪型の機器(ウェアラブルデバイス)を、市民等に無償で配布し、それぞれの方にとって望ましい生活習慣となるよう気付きを促す。（一定期間後は、月千円弱のアプリ利用料が生じる予定のため、このことを了承された市民等に対してのみ、配布することを想定）</p> <p>良い生活習慣を過ごした場合に、スマートフォンのアプリでのポイント付与により、モチベーションの向上を促進 当該ポイントによりFビレッジにおける試合観戦チケットやタワー11の宿泊施設チケットの付与等を実施し、市民の郷土愛(シビックプライド)醸成も同時に促進。</p>
5 事業の実施による公益的な効果	<ul style="list-style-type: none"> 市民等それぞれが自分に合った運動や睡眠活動を実施することによって、QOL（クオリティ・オブ・ライフ）及び幸福度の向上を図り、ひいては、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防が期待できる。 QOL（クオリティ・オブ・ライフ）とは：「生活の質」や「人生の質」のこと。 官民が連携して QOL の向上に取り組む先進的な自治体として、北広島市の知名度向上や市外からの投資誘致による経済効果等のほか、交流人口、関係人口及び定住人口の増加に寄与することが期待できる。

6 対象者、人数、規模等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記 : 優先枠としての市民等ならびに一般客に対して、中～大規模イベント(想定集客人数: 100～500名程度)を2回、小規模イベント(想定集客人数: ～50名程度)を2回の企画実施 ・上記 : 市民等最大15,700名程度に指輪型の機械(ウェアラブルデバイス)の配布とポイント付与に係る施策実施
7 想定スケジュールと内容	<ul style="list-style-type: none"> ・R6.7～8月上旬: 指輪型の機械(ウェアラブルデバイス)の無償配布に向けた周知文書作成・公開とロジスティクス整備 ・R6.8月下旬～9月: 指輪型ウェアラブルデバイスの配布、上記の告知・実施準備 ・R6.10月: 上記の企画実施開始(年度末まで改善を繰り返し継続) ・R6.9月～R7.3月: 上記に関連する企画準備と開催(一回につき約2ヶ月の準備・開催サイクルで計4回) ・R7.2月～3月: アンケート調査の実施と効果測定
8 必要最低補助額で事業を実施する場合の事業費削減の方法等について	<ul style="list-style-type: none"> ・上記に関して、開催回数を中～大規模イベントの開催1回と、小規模イベントの開催1回に縮小。想定集客人数をそれぞれ100名/50名に限定。 ・上記に関して、対象人数を100名に縮小 ・上記に関して、招聘ゲストの人数を削減
9 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業実施により得る個人情報、当該事業以外に、一切使用致しません。(この事業終了後も、配布した機械等を市民等が継続して利用される場合は、メールアドレスなど一部の情報は継続的に弊社が保有する場合があります。) また、この事業実施によるアンケート等の分析を実施する想定ですが、個人が特定できない状態での分析とします。 ・指輪型の機械(ウェアラブルデバイス)から得た情報により、別の商品販売を斡旋する等の行為は、一切致しません。また、高齢者等に対しては、アプリ操作方法等の支援も実施することを想定しております。 ・その他、事業内容について別紙添付資料「世界一健康なまちづくり1000+1 Movement 事業」をご参照ください。

世界一健康なまちづくり—1000+1 Movement 事業 令和 6 年度・7 年度 事業計画概要

北広島市 御中
株式会社 Ambi
2023 年 11 月

留意事項

本資料に含まれる情報の一切の権利は弊社に帰属するものであり、弊社の承諾なしに無断での複製、第三者への開示がなされることのないようお願い申し上げます。

1000+1
movement

1000+1 Movement 事業とは

だれでも 楽しくはじめられる
まいにち 1000 歩 と 1 時間。

まちの誰もがちょっとずつ
楽しく取り組みたくなるような
健康促進 x まちづくりプロジェクト、
それが **1000+1 Movement** です。

健康やウェルビーイングは
だれしものがその大切さを知っているつもりでも
皆がすぐに行動に移せるとは限りません。
それを、毎日の運動と睡眠から、しかも楽しくはじめられたら。

1000+1
movement

1000+1 Movement 事業の目標設定

運動目標：1日あたり平均歩数を

1,000 歩
増やす

20～50歳代でみると、フィンランドでの1日あたり平均歩数は約8,500歩とされている。北広島市での調査では、日常生活における歩数として「平均的な1日の歩数が多い人の割合（8,500歩以上）は12.0%。また、北広島市での目標指針として「あと1,000歩、歩きましょう」という記載もあり。

睡眠目標：平均睡眠時間を

60 分
増やす

フィンランドでの平均値は約7時間30分とされている。北広島市でのアンケート調査では「5～6時間」が45.5%、7～8時間が40.8%であり、推計すると多くても全体で7時間弱となると想定。なお、同調査において「睡眠による休養を十分にとれていない人の割合」は20.6%。

世界水準の健康寿命を 睡眠と運動から。

北海道北広島市と、6年間連続で世界幸福度ランキング1位を獲得した北欧の国・フィンランドには、まちづくりに縁があります。

北広島市では、フィンランドにあるタピオラ計画都市をモデルとし、地形や既存林を保全した緑豊かな住環境を提供する理想的なニュータウンとして「さんぼまち」が造成されました。

「団地」の言葉のイメージとは遠い、幅広い歩道や一軒家が並ぶ街がつけられたまち。

北広島市には、健康から幸せになれる要素が詰まっているのです。

“1000+1 movement”では、世界一健康なまちづくりに向け、事業に参加した北広島市民の睡眠と運動の活動水準を測定し**世界一の幸福度を誇るフィンランドでの統計値を超える**ことを目標に設定しています。

1000+1 Movement のイメージ



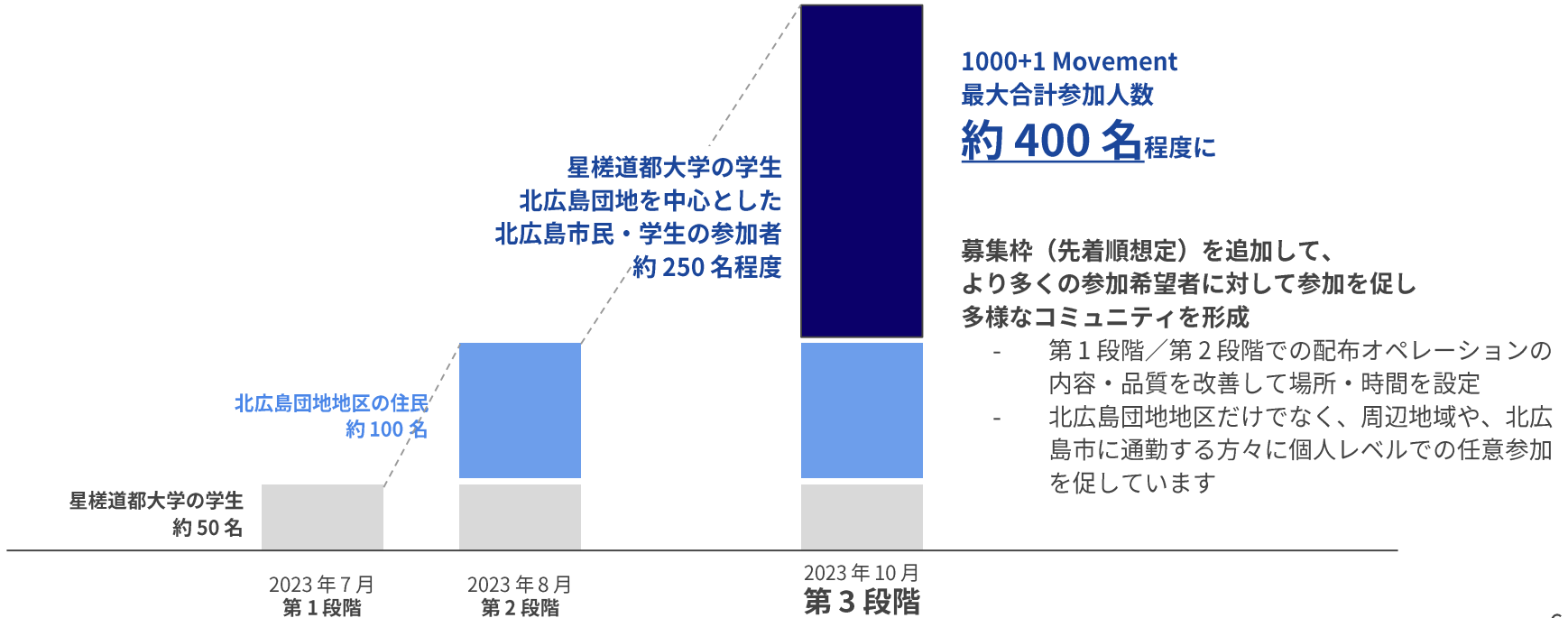
©H.N.F.



参加者がポイントを貯められる
1000+1 Movement アプリの画面イメージ

令和5年度の事業実施内容

1000+1 Movement 事業における指輪型ウェアラブルデバイス)の配布対象人数は、令和5年度中に400名となりました。



令和5年度の事業実施内容と振り返り

当事業は、星槎道都大学の学生の皆さんや、地域と日本を代表するパートナーの方々と一緒に毎日の歩行や睡眠を喚起しています。実際には、三世代にまたがって家族単位で参加してくれる方もおり、スモールスタートながら有意義な機会を設定できています。

98名/100名

アシックス株式会社が開催した
歩行年齢測定イベントへの応募者とその参加者
(キャンセル率=2%)

北広島市内のエルフィンロードや市民体育館などを利用した
1000+1 Movement 事業のさんぽ企画や、歩行年齢測定（提供：アシックス社）の様子



2023年7月11日に実施した
星槎道都大学社会福祉学部の
学生向けの事業説明会の様子



令和5年度の事業実施内容と振り返り（続き）

事業開始から3ヶ月間の立ち上げ期として、元々北広島市によるアンケート等で集計されていた情報より具体的な歩数や睡眠時間を可視化することに成功しました。今後、より実態的な平均歩数や睡眠時間の測定を推進し、各指標に有意な影響を与えられるように尽力してまいります。

北広島市健康づくり計画（第5次）健康きたひろ21（令和3年度～令和8年度）、地域福祉と健康づくりに関する市民アンケート調査での集計結果

平均歩数について

平均歩数については、市民アンケート調査によると、60歳代では4,000～6,000歩が34.9%と一番割合が多く、次いで4,000歩未満が32.6%となっています。70歳代では4,000歩未満が35.7%、80歳以上では4,000歩未満が51.8%となっています。

平均睡眠時間について

「5～6時間」が最も多く45.5%、次いで「7～8時間」が40.8%となっている。



1000+1 Movement 事業初期参加者群の平均歩数と睡眠時間
(試行期間後にはインセンティブの付与を開始し、月間平均歩数と睡眠時間への効果を解析)

事業開始前 試行期間 (7/12 - 8/11)	6,235 歩	6 時間 08 分
事業開始後 1 ヶ月目 月間平均 (8/12 - 9/11)	6,412 歩	6 時間 21 分
事業開始後 2 ヶ月目 月間平均 (9/12 - 10/11)	6,393 歩	6 時間 29 分
事業開始後 3 ヶ月目 月間平均 (10/12 - 11/8 *直近最新時点)	6,503 歩	6 時間 28 分

実態的な市民
データの見える化の開始

事業に参加した北広島市民からの声

「今年から事務仕事になり、中々身体を動かすきっかけがなく、うっかりすると体重は増加し、座りっぱなしの仕事で足のむくみはひどく、お昼過ぎには倦怠感もありました。

日常では階段を使う、近い場所は歩いたり自転車で行動、たまにランニングをすることで少しは身体も楽になりました。

そんな時に、北広島を世界一健康なまちへというテーマでambiさんによる企画を見て、真っ先に食いつきました。事前申し込みから受け渡しまで多少の時間はかかりましたが、つけたその日からアプリによる細かい詳細が示されていて、とても良い活力になってます。

睡眠時の赤信号を見ては、今日は少し早く寝ようかな。アクティビティでは、今日の目標まで後半分ですというメッセージに20分歩いてみよう。と、携帯を見た時に意識がやってみよう！と、プラスに受け取れる様になりました。

その他にもアシックスさんの身体診断的なイベントでも自分の身体を知る良い企画でした。」

「1年間、まだまだ自分の身体と向き合って、健康な身体で楽しく笑顔でオーラリングにサポートしてもらおうと思います。北広島市でこの様な取り組みを始めてくれたことに感謝しています。今日はお疲れ様でした。気持ち良いコースをのんびり歩いて良かったです。また次回、メンバーがどうなるか楽しみにしています。今日はありがとうございました。」

令和5年度の事業にかかる予算とその活用用途

北広島市の地方活性化政策補助事業制度を活用することで、アシックス株式会社や日本生命相互会社をはじめとして北海道を超えて日本各地から企業版ふるさと納税を通じた寄附を集めることができております。

企業版ふるさと納税を通じて
寄附していただいた企業数

8社

本事業への寄附金額の総額

7,300万円



日本生命



2023年10月20日にリリースした
日本生命、アシックスからの企業版ふるさと納税
の寄附実施と事業の共同推進に関するリリース

日本生命相互会社常務執行役員 高田保豊様のコメント

この度、1000+1 Movementの事業に関われる機会をいただけたことを嬉しく思います。日本生命は、「人」「地域社会」「地球環境」のサステナビリティを実現し、すべての人が笑顔で暮らす未来を創ることを目指し全国各地で様々な取組を展開しております。本事業では、日本生命と桐生祥秀選手が展開する「Kiryu Challenge Clinic」を通じて運動機会を提供することで、市民の皆様一人ひとりの健康増進を支援していきます。

株式会社アシックス 執行役員 スポーツ工学研究所長 原野健一様のコメント

この度、1000+1 Movementの事業に関われる機会をいただけたことを嬉しく思います。アシックスは、「健全な身体に健全な精神があれかし」を創業哲学に掲げ、VISION2030において、「だれもが一生、運動・スポーツを通じて心も身体も満たされるライフスタイルを創造する」ことを目指しています。効果的な運動の実施、さらには、その習慣化においては、良質な睡眠も欠かせません。本事業を通じ、さまざまな角度から市民一人ひとりに最適な価値を提供することにより、健康的で豊かなライフスタイルの実現を支援します。

参考: [株式会社Ambiプレスリリース「『Ambi x北広島市』の世界一健康なまちづくり-1000+1Movementを推進」](#)

令和5年度の事業にかかる予算とその活用用途（続き）

企業版ふるさと納税を通じて集まった令和5年度分の寄附金額73,000千円の活用に関する予算は以下を予定しております。また、2024年4月以降の事業継続にあたり、本事業年度中の一部予算を予備費として引き当てております。

		令和5年度
指輪型ウェアラブルデバイスの調達費用や報償費	北広島市民に配布した指輪型ウェアラブルデバイスの調達や、1000+1 Movement事業でのポイント配布、市民向けのイベント実施にかかる講師謝礼などを計上しています。	36,528千円
睡眠・運動分析にかかる費用（研究開発費用を含む）	1000+1 Movement事業における睡眠・運動分析にかかるサービス費用やデータ解析のための研究開発にかかる費用を計上しています。	28,616千円
事業運営にかかる諸経費・役務費	事業運営のために、通信費、指輪型ウェアラブルデバイスの配布にかかる費用、北広島市内に設けた株式会社Ambiのオフィス賃借料、イベント実施にかかる事務費用等を計上しています。	5,356千円
2024年4月以降の事業継続にかかる予備費引当分	2024年4月以降から令和6年度事業予算の概算払いの間、今年度の1000+1 Movement参加者の方々へ継続的にポイント等を配布できるように予備費を引き当てております。	2,500千円
		73,000千円

令和6年度・7年度の事業計画：事業内容

2024年度、2025年度は、より多くの北広島市民や関係人口の方々を1000+1 Movement事業に巻き込む「事業を拡げる」と、まいにち1時間長く睡眠をとったり、街で歩いたりするための「日々企画を改善する」ことの二軸を中心に事業を進めてまいります。

令和6年度・7年度

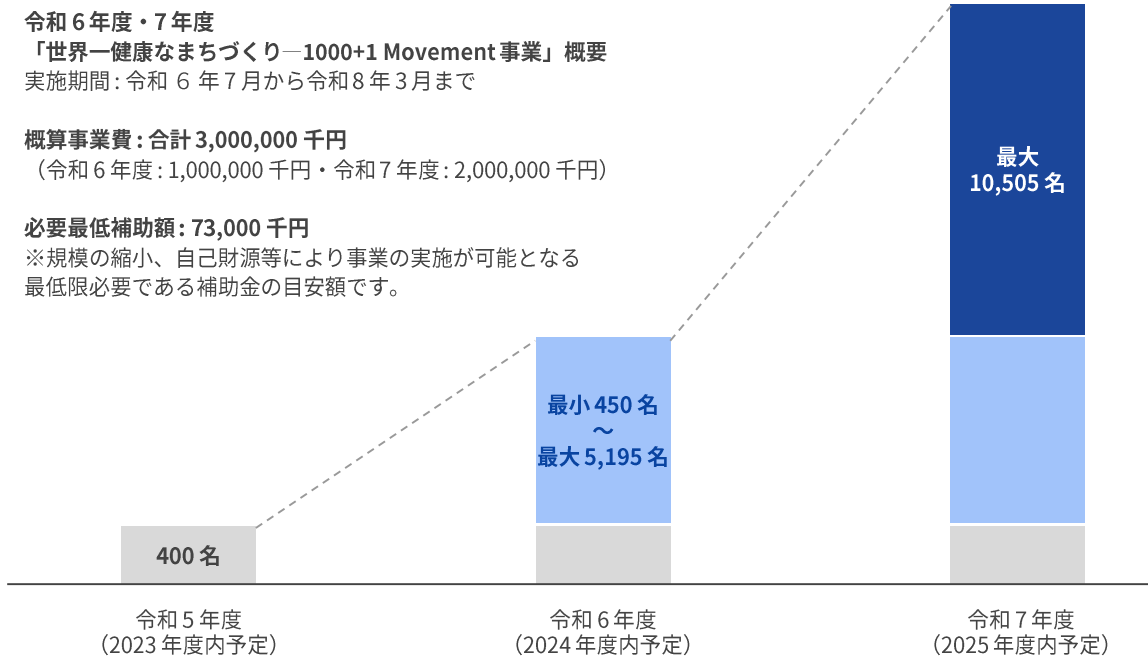
「世界一健康なまちづくり—1000+1 Movement事業」概要
実施期間：令和6年7月から令和8年3月まで

概算事業費：合計3,000,000千円

(令和6年度：1,000,000千円・令和7年度：2,000,000千円)

必要最低補助額：73,000千円

※規模の縮小、自己財源等により事業の実施が可能となる
最低限必要である補助金の目安額です。



1000+1 Movement

最大のべ参加人数 **最大15,700名程度**を計画

「事業を拡げる」

企業版ふるさと納税を通じた寄附金額の総額において、指輪型ウェアラブルデバイスの配布対象人数を拡大し、より多くの北広島市民や関係人口の方々をMovementに巻き込みます。

- 参加人数の拡張により、さんぼまちやエスコンフィールド等市内施設を活用したイベント企画等が可能となります。

「日々企画を改善する」

実際に睡眠時間を長くしたり、歩数を上げていくに当たって、どのような誘因（インセンティブ）があれば行動変容が起こるのかを日々試行錯誤し、市内で実証してまいります

- Oura Health社や、北広島市に寄附をしていただくパートナー企業ともアイデアやアセットも共有いただきながら、検証を繰り返しながら改善を進めていきます。

令和6年度・7年度の事業計画：予算

令和6年度・7年度それぞれの事業計画として、以下の予算を計上することを想定しております。
 なお、事業規模については、企業版ふるさと納税を通じた寄附金額の総額に応じて変動いたします。

		令和6年度	令和7年度
指輪型ウェアラブルデバイスの 調達費用や報償費	北広島市民に配布した指輪型ウェアラブルデバイスの調達や、1000+1 Movement事業でのポイント配布、市民向けのイベント実施にかかる講師謝礼などを計上しています。	624,000 千円	1,263,000 千円
睡眠・運動分析にかかる費用 (研究開発費用を含む)	1000+1 Movement 事業における睡眠・運動分析にかかるサービス費用やデータ解析のための研究開発にかかる費用を計上しています。	336,000 千円	670,000 千円
事業運営にかかる諸経費・役務費	事業運営のために、通信費、指輪型ウェアラブルデバイスの配布にかかる費用、北広島市内に設けた株式会社Ambiのオフィス賃借料、イベント実施にかかる事務費用等を計上しています。	40,000 千円	67,000 千円
※令和5年度からの予備費引当分	令和5年度より、2024年4月以降から令和6年度事業予算の概算払いの間、今年度の1000+1 Movement参加者の方々へ継続的にポイント等を配布できるように予備費を引き当てております（合計予算からは除外）	2,500 千円	-
		1,000,000 千円	2,000,000 千円

ambi

株式会社 Ambi は、北海道発のスタートアップです。
人びとの健康やウェルビーイング（Well-being）の達成を
誰もがもっと身近に、まずはたのしく体験できるように。
わたしたちはファンビーイング（Fun-being）の実現をテーマに
睡眠やスポーツを中心にした事業を展開しています。

会社概要

会社名： 株式会社 Ambi
所在地： 北海道北広島市（2023年札幌市より移転予定）
設立： 2020年
資本金： 999万円
URL： <https://ambi.jp>
代表： 金原 稔幸 代表取締役 CEO

